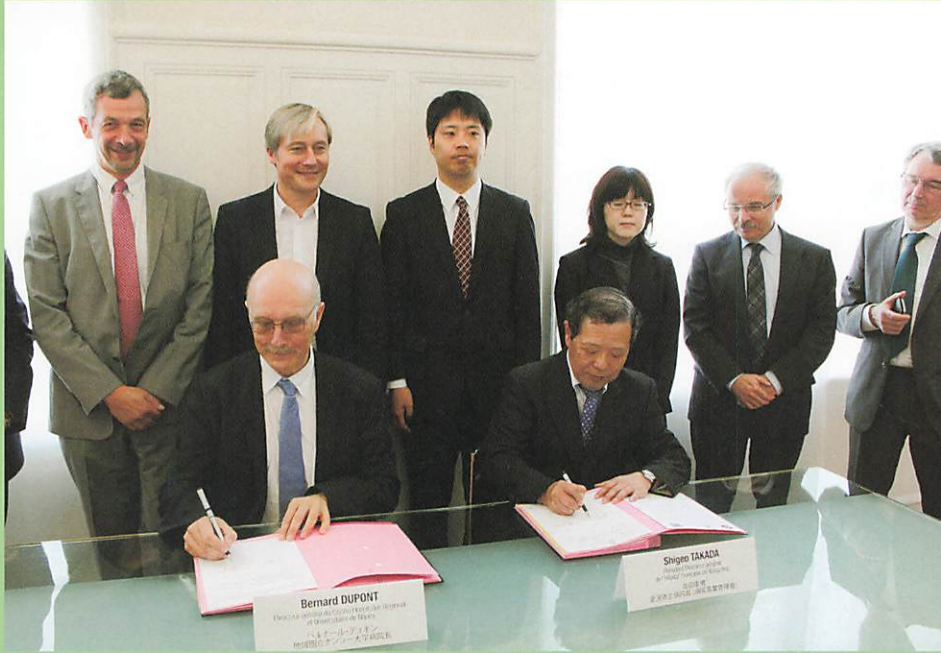




金沢

国際親善ニュース

各姉妹都市等で提携・交流の輪が広がる!



金沢市立病院と地域圏立ナンシー大学病院がナンシー市の立会いで研修生の交流協定を締結



金沢市立工業高校と大連市技師学院が教育友好交流合意書を締結

金沢市姉妹都市交流委員会

国際交流戦略プランを策定

本市では、2013年3月に新たな都市像として「世界の『交流拠点都市金沢』をめざして」を策定し、翌年2月には、都市像を踏まえて今後10年間に取り組むべき施策を重点戦略計画としてとりまとめました。

国の内外から人・モノ・情報の集積、交流を図ることにより、新たな価値を創造しながら、持続的発展を続ける「交流拠点都市金沢」を実現するためには、国際交流をこれまで以上に活性化することが欠かせないことから、そのための総合的な戦略として、2015年3月に、「金沢市国際交流戦略プラン」を策定しました。



策定委員会の様子

今後、本市は、各関係機関等と連携・協働を進め、本プランの着実な推進に努めてまいります。

(1) プランの概要

● 重点戦略計画の最終年8年後の理想とする姿

1. 都市名が世界の多くの人々に認知されているまち
2. 伝統と創造が調和した世界の人が憧れるまち
3. 世界の人々と盛んな交流が行われ、日々新たな交流が生まれるまち
4. 国際化時代にふさわしい人材にあふれ、外国人が滞在・生活しやすいまち

● 基本方針と推進のための戦略

- 1 認知度の向上をめざした都市の発進力の強化
 - 1. 金沢ブランド（伝統文化・伝統工芸・食文化等）の発信強化
 - 2. メディアや旅行業界との連携による広域観光ルート等の開発
 - 3. MICEの誘致とコンベンション機能の強化
- 2 歴史文化遺産や新たな創造による資産を生かしたまちの魅力の向上
 - 1. 歴史資産や伝統文化を生かしたまちの魅力づくり
 - 2. 新たな魅力の発掘と創造
 - 3. 情報提供と交通アクセス等の利便性の向上
- 3 固有のストックやネットワークを生かした交流の促進
 - 1. 姉妹都市や創造都市などのネットワークを生かした新たな交流の促進
 - 2. アジア地域を視野に入れた新たな交流事業の展開
 - 3. 学術文化を生かした交流の促進
- 4 国際感覚を持つ人材の育成と外国人居住環境の整備
 - 1. 若い世代を軸とした受入や派遣の促進
 - 2. 外国人が滞在や生活しやすいまちづくり
 - 3. 国際感覚を持つ人材の育成

● 主要施策

- 認知度向上のための施策 14 施策
- まちの魅力向上のための施策 12 施策
- 交流促進のための施策 11 施策
- 人材育成・環境整備のための施策 21 施策

(2) 策定の経過

- 第1回 国際交流戦略プラン策定委員会 (H26.6/6)
- 第2回 国際交流戦略プラン策定委員会 (H26.11/20)
- パブリックコメント募集 (H26.12/26 ~ H27.1/26)
- 第3回 国際交流戦略プラン策定委員会 (H27.2/26)
- プラン策定



金沢市国際交流戦略プラン

(3) 国際交流戦略プラン策定委員会 委員

分野	氏名	所属・役職
大学 〔座長〕	やまざき こうえつ 山崎 光悦	金沢大学学長・ (公財) 金沢国際交流財団理事長
大学	しゅう こう 周 航	北陸大学専務理事
経済団体	くせ やすし 久世 靖	金沢商工会議所国際委員長
旅行業界	いさらい ひろき 小井 浩樹	(一社) 日本旅行業協会中部支部 石川地区委員会委員長
在住外国人	セシル・ アンドリュ	金沢美術工芸大学非常勤講師
国際観光 ボランティア	あんりゅう としみつ 安立 利光	金沢グッドウィルガイドネットワーク代表・ (公財) 金沢国際交流財団理事
行政	まるぐち くにお 丸口 邦雄	金沢市副市長

多文化共生施策

市民防災訓練に留学生らが参加

2014年6月29日に第18回新神田校下市民防災訓練が、新神田小学校ピロティ及び体育館等を会場として行われました。

当日は、地域住民ら約510人が集まり、地震とそれに伴う水害を想定した内容で訓練が実施されました。

この訓練には、初めてベルギー、インドネシア、ケニア出身の留学生ら6名の外国人住民が参加し、地域の方々と一緒に自動対外式除細動器（AED）の使い方を学んだり、煙体験などを行いました。

会場には、国際交流課が作成した「避難所多言語対応冊子」を備えた多言語対応窓口が設けられ、窓口を担当する地域の方々と留学生らによる避難所入所時の受付や家族の安否などの応答訓練も行われました。また、会場の要所には、同冊子の中に収められている多言語（英語・中国語・韓国語・ポルトガル語）案内を掲示し、誘導を行いました。



会場に集まった参加者



AED訓練



受付・応答訓練



多言語案内掲示（左側）

「生活ガイド」の東南アジア・中東出身者向けを新規に作成

これまで作成していた「生活ガイド」の英語・中国語・韓国語・ポルトガル語に加えて、新しくタイ語、インドネシア語、マレー語、アラビア語、ベトナム語の5カ国語を作成しました。近年増加している東南アジアや中東出身者が生活しやすいよう、必要な情報を多言語で提供するもので市役所、大学などを通じて配布しています。

新たな交流の架け橋の活躍！

2014年4月から8月までの間、ゲント大学から金沢大学に留学していたサンネ・ヴァン・ワンゼールさんが、半年間という短い留学期間にもかかわらず、様々な交流事業において幅広く活躍してくれました。

サンネさんは、2008年に結ばれた美大間の交流協定に基づき、2010年にゲント王立美術アカデミーからの短期留学生として3ヶ月間を金沢で過ごした後、帰国してから、再度ゲント大学日本語学科に入学しました。ゲント大学在学中の2012年には、ゲント市を訪問した山野市長から「金沢・ゲント留学生交流員」に任命され、今年度には2度目となる半年間の金沢への留学を果たしました。

これからも金沢市に滞在する予定であり、ゲント市をはじめとする交流の架け橋としての活躍が期待されます。

【主な参加事業】

- 4/19 姉妹都市ゲント市へ派遣にあたり、JAZZ-21団員への講演会を実施
- 6/29 新神田校下市民防災訓練への外国人住民としての参加・感想発表
- 8/5 市長とのビジネス・ランチ・ミーティング（テーマ：外国人に選ばれるまち）に参加
- 10/18 姉妹都市交流特使養成塾第1回講座への参加

【その他】

- ・おしゃれメッセ2014の関連事業「100人×100品展」へセクターとして参加
- ・JAZZ-21関係者有志へのボランティアでの英会話講座の実施（週1回）



市民防災訓練に参加



第1回姉妹都市交流特使養成塾「金沢の歴史・文化」講座に参加



生活ガイド



「100人×100品展」に参加

姉妹都市交流特使養成塾の開催

金沢の魅力やSNS等を通じて海外へ発信する「姉妹都市交流特使」を養成するため、姉妹都市出身及び姉妹都市のある国出身の7カ国の留学生を対象に、金沢の文化等を体験して学ぶ「姉妹都市交流特使養成塾」を計8回開催しました。養成塾には「姉妹都市交流サポーター」と呼ばれる、本市の青少年海外派遣事業に参加したことがある日本人のボランティア（現在中学生～社会人まで）も参加し、交流を楽しみました。

1. 特使養成塾受講登録留学生

「姉妹都市交流特使」は、帰国後もSNS等で金沢の魅力を発信したり、本市の交流事業として市代表団等が姉妹都市を訪問する際に協力するなど、金沢市と姉妹都市をつなぐ架け橋としての活動が期待されています。

○登録留学生の国籍別内訳

国籍	中国	ベルギー	韓国	ロシア	フランス	ブラジル	合計
人数	41	5	3	3	1	1	54

※各人数は延べ登録人数（任期中での帰国者含む）

2. 講座内容

- 第1回 10月18日
金沢の歴史・文化講座（10名参加）
- 第2回 11月2日
加賀友禅de秋の庭園散策（20名参加）
- 第3回 11月15日
金沢くらし探訪
（31名ほか姉妹都市交流サポーター6名参加）
- 第4回 11月24日
加賀野菜de姉妹都市クッキング（17名ほか姉妹都市交流サポーター6名参加）
- 第5回 12月21日
金沢市民の足「ふらっとバス」でめぐる金沢文化体験ツアー（10名参加）
- 第6回 1月10日
日本の正月遊びin雪山（25名参加）
- 第7回 2月1日
金沢の能楽鑑賞及び能楽にまつわる書写・うたいのミニレッスン（19名参加）
- 第8回 3月15日
長町武家屋敷跡散策と周辺マップ翻訳（9名参加）

3. 受講生の活動

各養成塾において、SNSを通して発信する時間を設け、受講生は、養成塾での体験を母国語で金沢の魅力を海外へ発信してくれました。

また、ブラジル人の受講生が、今年度の市長表敬訪問で通訳として協力してくれました。今後、様々な国籍の特使との交流と連携を通じ、世界各地と金沢をつなぐ様々な事業の展開を目指します。



加賀友禅 de 秋の庭園散策（11/2 兼六園）



金沢くらし探訪（11/15 金沢湯涌江戸村）



金沢市民の足「ふらっとバス」でめぐる金沢文化体験ツアー（12/21 金沢能楽美術館）



長町マップ翻訳体験（3/15 長町）

国際交流員がフェイスブックを活用して金沢の魅力を発信！

国際交流員5名が公式フェイスブックを活用した金沢の魅力発信を図るため、金沢固有の歴史・文化を実際に体験しながら、その様子を国際交流員だよりとして多言語で世界に発信しました。



加賀友禅を体験

- 6/6 着任あいさつ・金沢の印象 唐交流員
- 6/15 百万石まつりでの感動 唐交流員
- 6/20 韓国屋台料理の紹介 李交流員
- 7/1 国際交流まつり ヴァルク交流員
- 7/13 離任のあいさつ・第二の故郷金沢 ヴァルク交流員
- 10/6 就任のあいさつ デュボワ交流員
- 10/9 ベルギーの食と歴史紹介 ヴァンホーレンバーク交流員
- 10/23 姉妹都市交流特使の活動紹介 ウング交流員
- 11/6 加賀友禅de金沢の魅力発信 唐交流員
- 11/28 加賀野菜で姉妹都市料理を紹介 李交流員
- 1/18 冬の楽しみ方 李交流員
- 2/26 金沢を結ぶ鉄路 ヴァンホーレンバーク交流員
- 3/15 新幹線開業に伴う感動！ ウング交流員

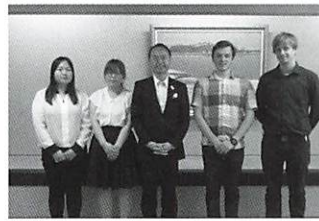
日本語研修生受入モデル事業

本市では、世界の交流拠点都市金沢を実現するための重点戦略計画において、姉妹都市からの学生の研修旅行を誘致することとしております。今後受け入れる研修生を増やすなど、拡充していくためのモデル事業として、2014年8月に、韓国・全州市、ベルギー・ゲント市から各市2名、2015年1月にブラジル ポルト・アレグレ市より2名、計6名の研修生を受け入れました。

研修生は、約1ヶ月間の滞在中、日本語の研修に加え、古いまちなみを保存するまちづくり施策の視察、お茶体験など、様々な文化プログラムとホームステイを体験しました。

本市は、研修後に修了生を姉妹都市交流特使に任命しており、特使は帰国後も、メールマガジンで定期的に本市の情報を伝えるなど、世界各地でイベントやフェイスブックなどを通じ、金沢の魅力発信や両市の国際交流に対して協力を得ています（姉妹都市交流特使についての詳細はP.3参照）。

【2014年8月の研修旅行】



市長表敬訪問

【2015年1月の研修旅行】



日本語授業



まちづくり施策の視察



和菓子作り体験



お茶体験



能楽体験

各姉妹都市等で提携・交流の輪が広がる！

●金沢市立病院と地域圏立ナンシー大学病院が交流協定を締結、研修医を派遣

金沢市立病院と地域圏立ナンシー大学病院が、2014年9月29日、ナンシー市にて、研修生の交流に関する協定を締結しました。今後、金沢市立病院と地域圏立ナンシー大学病院は相互に研修生を派遣し、国際的な視野を持った医師の育成を目指します。

調印式には金沢市立病院から高田重雄院長、辻宏和消化器内科長、派遣研修生の宮岸良彰医師、小泉瑛子医師が参加しました。また派遣研修生の2名は、10月1日から28日の期間、地域圏立ナンシー大学病院にて研修を行いました。

●金沢市・蘇州市・全州市 3姉妹都市図書館トライアングル交流の実現に向けて！

2014年9月19日から22日の日程で、蘇州図書館開館100周年記念式典に参加した越川恭明・金沢市教育委員会生涯学習部長、東田真澄・金沢海みらい図書館館長をはじめとする訪問団4名が蘇州市で、同じく参加した全州市からの図書館訪問団と3姉妹都市図書館代表による懇談を行いました。

金沢海みらい図書館と蘇州市図書館とは2013年12月

に、蘇州市図書館と全州市完山図書館とは2014年9月20日にそれぞれ姉妹図書館の提携を結んでおり、2015年には金沢海みらい図書館と全州市完山図書館が提携を結ぶ予定としていることから、今後3姉妹都市図書館によるトライアングル交流により、更に交流が深まることが期待されます。



蘇州市図書館前で全州市図書館代表団と記念撮影

●金沢市立工業高校と大連市技師学院が教育友好交流合意書を締結

2014年6月28日から7月2日の日程で、劉曉暉・大連市技師学院院長を団長とする大連市技師学院訪問団7名が来沢し、7月1日、金沢市立工業高校にて、同校と大連市技師学院との間で「教育友好交流に関する合意書」が調印されました。

今後、両校の工業教育における相互の教育交流・学術協力の推進を通じて、本市と大連市との友好交流がますます発展することが期待されます。

しまいとしかなざわ 3姉妹都市で金沢マラソンをPR

2015年11月15日、「金沢をまるごと『走る!』」をキャッチフレーズに、金沢市で初めて開催される金沢の魅力が満載できる7つのゾーンを走るフルマラソンの大会「金沢マラソン2015」への参加を呼びかけるため、本市では、下記の3姉妹都市にPR団を派遣しました。各都市でのPRの概要・成果は以下のとおりです。

гент市・ナンシー市

2015年2月7日から13日の日程で、永江庸悦・石川陸上競技協会会長を団長とする金沢マラソンPR団の4名が、ベルギー・гент市およびフランス・ナンシー市を訪問しました。гент市滞在中は、ランニングイベント団体「гент・ロープト」代表のゲルト・ゲイセル氏やгент市長らと面談し、金沢マラソンへの協力を依頼しました。

また、гент市訪問に先立ち、ブリュッセルで開かれていた旅行博の会場（本市から観光パンフレット・ポスター、金沢マラソンPRチラシ・DVD等を送付・展示）を視察し、JNTO（日本政府観光局）や在ベルギー日本国大使館の関係者にも今後の金沢マラソンPRに向けて協力を依頼しました。

ナンシー市滞在中は、ナンシー市スポーツ連盟の担当者やナンシー市助役と面会したほか、市内スポーツ用品店を訪問し、フランス語のチラシの配布や市民ランナーへのPRを依頼しました。

今回の金沢マラソンPR団からの依頼を受けて、гент、ナンシーの両市ともに市を代表する金沢マラソン参加団を派遣することが決まりました。また、両市代表団のほかにも多くの市民ランナーが金沢マラソンに興味を持っていただいたことで、金沢マラソン第1回大会には、両市から多数のランナーの参加が期待できます。



テルモント市長へ協力を依頼（гент市）



ベルレモン助役への説明（ナンシー市）



ブリュッセル旅行博 日本ブースで金沢マラソンをPR

全州市

2014年9月26日から29日の日程で、正吉喜久夫・金沢市陸上競技協会理事長、藏前賢次・同協会副理事長/事務局長をはじめ、金沢からの市民ランナー3名（出村浩之さん・長谷川由香さん・中嶋外茂治さん）を含む金沢マラソンPR団の8名が、韓国・全州市を訪問しました。

一行は、28日に全州市で開催された「第13回全国夫婦・家族マラソン大会」の会場に広報ブースを設けて、パンフレットを設置し、金沢マラソンを紹介する広報DVDを流すとともに、チラシを配布するなど、大会参加者や来場した全州市民の皆さんに、金沢マラソンへの参加を呼びかけました。また、全州市でのこのマラソン大会には、派遣された3名の市民ランナーと事務局の1名が出走、ハーフマラソンに出場した出村浩之さんは「初めて海外のロードレースに参加したが、一緒に走っているランナーと交流ができて、とても楽しく走れた。」、同じくハーフに出場して3位に入賞した長谷川由香さんは「全州市のランナーと声を掛け合いながら楽しく交流できた。金沢マラソンのPRもできたと思う。」、10kmの部に出場した中嶋外茂治さんは「全州市は金沢と似た雰囲気があるまち。気持ちよく走れた。」などと語り、金沢マラソンのPRとともに現地ランナーとの交流を深めました。

さらに、滞在中の27日には、金沢市陸上競技協会と、このマラソン大会を主催した全州市の全羅北道陸上連合会との間で、これまでの交流を受けて、今後、両市で開催される競技大会への選手・役員相互派遣等を通じて交流を深めることを盛り込んだ、両競技団体間での「友好交流に関する合意書」が調印されました。金沢マラソンには、両競技団体との交流を通じて、両市の交流が更に深まることが期待されています。



金沢マラソンPRブース



出走前に意気込む市民ランナーの皆さん



大会を終えて全羅北道陸連会長との記念撮影



全羅北道陸連と交流合意書を締結

バッファロー 【アメリカ合衆国】



国際青少年交換プログラムの留学生ブリアナ・カルディナさん

提携 1962年(昭和37年) **人口** 26万人 **面積** 105km²

五大湖のひとつ、エリー湖の東にあり、ニューヨーク州西部の政治、経済、教育、文化の中心地。製鉄・製粉などの工業都市として発展した。市内には、オルブライト・ノックス美術館、州立大学バッファロー校や広大なデラウェア公園があるほか、著名な建築家フランク・ロイド・ライト設計の建物が現存するなど、文化と学術のまちでもある。有名なナイアガラの滝は、北西25kmの所にある。

ニューヨーク州立大学バッファロー校学長らが来沢

2014年4月16日、ニューヨーク州立大学バッファロー校からサティッシュ・トリパシ学長夫妻及びステイブン・ドゥネット副学長補佐が来沢し、協定締結校である金沢大学の山崎光悦学長を訪問するなどしました。懇談では、今後のさらなる交流の可能性などについて意見交換が行われました。

バッファローから留学生が来沢

2013年8月から2014年6月までの間、バッファロー出身の留学生ブリアナ・カルディナさんが、ロータリークラブの国際青少年交換プログラムで来沢し、市内3家庭にホームステイしながら、市内の高校に通い交流を深めました。

ポルト・アレグレ 【ブラジル連邦共和国】



日本祭り開会式での鏡開き

提携 1967年(昭和42年) **人口** 141万人 **面積** 497km²

ブラジル南部最大の都市で、リオ・グランデ・ド・スル州の州都。豊かな農牧地帯とリオ・デ・ジャネイロに並び良港を持ち、米、ワイン、たばこ、畜産物などの生産のほか、木材、毛織物、金属等の工業も盛ん。四季ははっきりしており、グワイーバ川沿いに広がる市街は、美しいバトス湖や街路樹に彩られる。まちの入口では、この地のシンボルのガウショ(カウボーイ)の像が訪れる人々を出迎えている。

日本祭り会場が金沢一色に!

2014年8月13日から21日の日程で、金沢市民謡協会推薦の瀬尾明美 民謡舞踊・新舞踊 瀬尾流家元を団長とする文化団(3名)を派遣しました。一行は、ポ市の地元日系諸団体が主催する第3回日本祭り(期間:8/16-17 来場者:約5万人)に参加、会場の州警察学校に集まった市民(約500人)は、普段見る機会のない民謡舞踊の演技に見入っていました。

祭りの開会式では瀬尾団長が、ジョセ・フォーチュナティ市長をはじめとする地元関係者や在ポルト・アレグレ領事事務所の後藤領事らとともに日本式の鏡開きを行い、フォーチュナティ市長は「金沢市や日系社会との関係が深くなることは嬉しい。」と開催を喜び、来年11月の第1回金沢マラソンへの参加意向を示しました。また2日目の閉会式では、瀬尾団長が舞台上で振り付けを来場者に指導しながら、来場者が百万石音頭を輪になって踊るなど、会場は金沢一色に染まりました。

また、会場には金沢市を紹介するブースが設けられ、金箔、漆、加賀友禅などの工芸品や観光ポスターなどを展示し、ポルト・アレグレ市職員や現地市民ボランティアが梅鉢紋の浴衣を着用して、金沢の魅力を市民に紹介しました。文化団一行は、地元大学でも民謡舞踊を披露したほか、ポルト・アレグレ市長も訪問するなどしました。

南伯日本商工会議所専務理事の来沢

2014年5月22日から24日の間、南伯日本商工会議所の和田好司専務理事と同夫人が来沢しました。滞在中は山野市長を表敬訪問し、今後の交流について懇談を行いました。またこれに先立ち、田中展郎市議会議長を訪問したほか、2013年11月にポルト・ア

レグレ市を訪れた金沢市議会姉妹都市友好議員団3名とも再会を喜び合いました。

天皇誕生日レセプションに初出席

2014年12月4日、在ポルト・アレグレ領事事務所主催で開催された天皇誕生日祝賀レセプションにおいて、姉妹都市・金沢市の工芸品や観光ポスターなどが初めて展示され、集まった大勢の政財界や日系団体関係者からは、精巧な工芸品などに感嘆の声が寄せられました。

Topics

元国際交流員が「金沢友の会」設立!

ポルト・アレグレ市で2015年3月19日に、金沢ゆかりの市民らでつくる「金沢友の会」が発足しました。会では年間を通じて、両市の交流を深めるための事業を企画・実施する予定で、会の発足により市民交流が今後促進されることが期待されます。

会長には、金沢市役所で2001年からの2年間、国際交流員として勤務したジルベルト・サントス氏が就任し、ポルト・アレグレ市の国際関係課職員が事務局職員を兼ね、姉妹都市との交流の架け橋として活躍する姉妹都市交流特使2名をはじめとする多くの市民も会の主旨に賛同し入会しています。

主な活動内容として、日本祭り会場での金沢市ブースの出展などを検討しており、金沢市でも「金沢友の会」の設立を機に、会の活動に協力していきたい考えです。

イルクーツク 【ロシア連邦】



表敬訪問後の記念写真（中学生親善団）

提携 1967年（昭和42年） **人口** 60万人
面積 277km²

バイカル湖(世界遺産)の西方にあり、東シベリアの政治、経済、教育、文化の中心地。イルクーツク州の州都。天然資源が豊かで、機械、木材、食品などの工業が発達している。アンガラ川沿いに広がる市街は、美しく落ち着いた雰囲気から「シベリアのパリ」とも呼ばれる。市内には、イルクーツク大学をはじめとした学術施設、先端技術の研究所や工場などが数多くあるほか、市民の文化・芸術活動も盛ん。

ようこそ！中学生親善団の皆さん！！

2014年7月2日から8日まで、サベリレフ アレクセイ市議会議員を団長とする中学生親善団20名（引率5名、学生15名）が来沢しました。7月4日、一行は、金沢市長らに表敬訪問を行った後、高岡中学校を訪問しました。同校では、全体会で歓迎を受けた後、茶道や書道の体験、柔道・剣道などの部活動見学を通じ、生徒らとの親睦を深めました。また、同5日から6日に行った一泊二日のホームステイでは、ホスト家庭の一員として、楽しい一時を過ごしました。ホームステイ後に行われた交流会には、2013年4月にイルクーツク市に派遣されたKANAZAWA JAZZ MASTERS BANDの5名のメンバーがボランティア参加し、演奏を披露するとともに、同じ年にイルクーツク市を訪問した金沢市中学生親善団のテーマソングを伴奏し、当時の団員との歌によるコラボレーションもありました。

一行は、滞在中のプログラムを通じて多くの方々と触れ合うとともに、兼六園やひがし茶屋街などの市内視察や能楽や着付けなどの日本文化体験なども行い、たくさんの思い出を持ってイルクーツク市へ戻りました。



演奏するジャズ団

金沢市議会姉妹都市友好訪問団 訪問

2014年7月22日から24日の日程で、田中展郎金沢市議会議員（金沢市姉妹都市交流委員会会長）を団長とする金沢市議会姉妹都市友好訪問団9名がイルクーツク市を訪れました。一行は、同24日にイルクーツク市議会を訪れ、同市議会の議場において、ハンハラエフ議長らを表敬訪問し、今後の姉妹都市交流について懇談するとともに、併せて金沢マラソンのPRも行いま

した。また、市内の金沢通りやバイカル湖の視察等を行うなど、有意義な訪問となりました。



議場での記念撮影

Topics

「石川県ロシア協会」イ市中学生親善団受入協力・交流写真展開催

石川県ロシア協会金沢支部（金沢市ロシア協会）は、7月5日、本市が受け入れたイ市中学生親善団の団長をはじめとする引率者（5名）に対し、野田山の「ロシア人墓地」の紹介と交流を行いました。また、10月14日から19日にかけて、同協会が毎年設定している日ロ友好親善月間「フェスタ・バイカル」の枠組みで、金沢国際交流財団において、交流写真展を開催しました。

「交流サポーター」活動

「交流サポーター」は、金沢市の青少年交流事業で、21世紀を迎えた後、イルクーツク市へ派遣された中学生親善団員OBの有志で構成され、メンバー相互の切磋琢磨のための親睦活動や国際交流事業のボランティアを行っています。なお、本年度の主な活動は次のとおりです。



「同窓会」（会議）の様子

- 4月：2013年度派遣者同窓会（11名）
 - 7月：中学生親善団受入協力（19名、08.11.13年度派遣者）
 - 8月：同窓会・姉妹都市からの研修生らとの交流（9名、04.08.11.13年度派遣者）
 - 11月：姉妹都市交流特使くらし講座運営協力（5名、02.06.08年度派遣者）
姉妹都市交流特使姉妹都市料理講座協力（3名、06.08.13年度派遣者）
 - 12月：同窓会・留学生との交流会（7名、06.08.11.13年度派遣者）
 - 3月：同窓会・留学生との交流会（9名、06.11.13年度派遣者）
- その他、国際交流員講座への参加、国際関係講演会への参加など、様々な活動に積極的に参加・協力しています。

ゲント【ベルギー王国】



駐ベルギー大使との記念撮影 (JAZZ-21)

提携 1971年(昭和46年) **人口** 25万人 **面積** 158km²

フランダース地方の中心都市で、今も中世の面影を色濃く残す芸術・文化のまち。別名「花の都市」とも呼ばれ、花の博覧会「ゲント・フローラリア」は世界的にも有名。ゲント港はヨーロッパ屈指の内陸港で、繊維、鉄鋳などの産業が発達した。聖バーフ大聖堂や1817年創立のゲント大学のほか多くの博物館や旧跡があり、中でも鐘楼やベギン会修道院などは世界遺産に指定されている。

ゲント大学が研修旅行で来沢

金沢大学と協定を締結しているゲント大学の日本語学科有志による日本への研修旅行が実施され、日本語学科の学生17名は、アンドレアス・ニーハウス教授らの引率のもと、4月1日には本市を訪れ、金沢大学の学生と折り紙などを通じて交流を深めたほか、兼六園を散策するなどしました。

「国際ジャズデー」に響く金沢のジャズ!

2014年4月25日から5月5日までの間、金沢市民芸術村を拠点に活動するジュニア・ジャズ・オーケストラJAZZ-21の25名(団員20名、引率5名)が、ゲント市を訪問し、2006年および2012年のバッファロー市訪問以来3度目となる海外での公演を果たしました。

ゲント市滞在中の4月30日の国際ジャズデーを記念したゲント王立音楽院によるジャズイベント「TUNES」では、ゲント市長や駐ベルギー日本大使をはじめとする約500名の聴衆の温かい声援に包まれながら、ベルギー出身の著名なハーモニカ奏者であるトゥーツ・シールマンスの名曲であるブルーゼットなど、計10曲の楽曲を熱演し、そのオープニングを華々しく飾りました。

またゲント王立音楽院で参加したワークショップでは、楽器の演奏テクニックや、JAZZと他の音楽との違い、音楽理論など、プロによる体系だった説明に子どもたちは熱心に聞き入っていました。さらにゲント市長への表敬訪問やゲント大学日本語学科の学生との交流なども行いました。

今回の訪問は、2009年に両市が同時にユネスコ創造都市に登録(金沢市:クラフト&フォークアート分野、ゲント市:音楽分野)されたことを機に、2012年8月に両市長によって、創造都市ネットワークの枠組みを活かした交流に重点的に取り組む方向性が確認されたことから実現したものです。



王立音楽院でのワークショップ

ゲント王立音楽院から2度目の来沢

2015年2月26日、創造都市ネットワーク日本総会が金沢21世紀美術館で行われるのにあわせて、ゲント王立音楽院のマールテン・ウェイレル音楽学部長が来沢し、音楽分野で登録されているゲント市での取り組みを全国から集まった自治体担当者で紹介しました。

また講演会に先立ち、ウェイレル氏は山野市長を表敬訪問したほか、今春、ゲント市を訪問したばかりのJAZZ-21関係者とも再会を果たし、旧交を温めました。ウェイレル氏の来沢は、2012年9月に続いて2度目となります。

若手パティシエが本場で腕磨く!

若手パティシエの技術向上のため、石川県洋菓子協会へ入選されたパティシエ・池端未香さんが、本市の協力のもとゲント市内の洋菓子店「ヨースト・アレイス」に2014年4月から1年間、インターンとして派遣されています。

池端さんは、現在では、難しい仕込みも教えてもらえるようになっていて、店主も、池端さんの的確で勤勉な仕事ぶりに感心しているとのこと。

協会では、今後もゲント市へ若手パティシエを継続的に派遣する予定をしています。

Topics

在ベルギー日本大使館との連携強化

2014年11月18日、石井大使の主催により大使公邸で姉妹都市連携強化レセプションが開催されました。日本とベルギーの間には、8つの姉妹都市、2つの友好都市及び2つの友好港がありますが、姉妹都市からはゲント市のテルモント市長をはじめ4市の市長が出席し、2016年の日本・ベルギー友好150周年へ向けに積極的な意見交換が行われました。

また昨年に引き続き12月10日に、在ベルギー日本大使館の大使公邸で開催された天童誕生日祝賀レセプションにおいて、姉妹都市PRブースが設置され、本市のポスターや工芸品等は好評を博しました。

ゲント市との交流に関しては、白頃から在ベルギー日本大使館のネットワークを活用した広報を積極的に行っています。

テルモント市長がワールド・メイヤー賞2014で第2位!

シティー・メイヤーズ財団が開催する「ワールド・メイヤー(世界最高市長賞)」が2月3日に発表され、ダニエル・テルモント市長が世界第2位のヨーロッパ都市貢献賞を受賞し、2007年から市長として同市の発展に尽力した功績が世界に認められました。同財団は、2004年から隔年で市民の都市生活の発展と市民の幸福に大きく貢献した現職の市長を顕彰しています。

今回の受賞の理由のひとつとして審査員はゲント市が環境、経済、社会のそれぞれの分野において高い目標をかかげ、市民が協力しあい、それらの目標を実現したことをあげました。テルモント市長は、自身の信念に忠実で、市民との交流に熱心である一方、政府レベルでの交渉やビジネス関連の折衝で手腕を発揮する一面も持っていることでも知られています。

テルモント市長の世界を代表する名市長としてのさらなる活躍をお祈りしています!

ナンシー 【フランス共和国】



ナンシー交換留学生在丸口副市長に出発・帰国挨拶

提携 1973年（昭和48年） **人口** 10万人

面積 15km²

フランス東部の中心都市で、12世紀中頃からロレーヌ公国の都として栄えた。機械、織物、クリスタルガラスなどの産業が発達しており、20世紀初頭の芸術運動アール・ヌーボー発祥の地としても有名。近郊を含め、学生数4万人の学術都市として、また、国際的な演劇祭や音楽祭、国立バレエ団がある芸術都市として発展している。スタニスラス広場などが世界遺産に指定されている。

専門学校生の研修旅行を受入

ナンシー市の不動産専門学校「ジョルジ・ド・ラ・ツール校」の学生および教師の計29名が、4月16日から23日の期間、研修旅行のために金沢を訪れました。学生たちは金沢市の再開発事業や町家活用に関する講義を受けたほか、茶道体験や、金沢大学の学生との交流などを行いました。



金沢大学の学生と交流

インターンをナンシー市役所へ派遣

ナンシー市役所でのインターン活動のため、竹浪杏里さんと高島めぐみさん（ともに金沢大学）が金沢市から派遣されました。インターンは8月4日から29日の期間で行われ、二名はナンシー市が管轄する施設での仕事を担当しました。

また、このインターンには金沢市以外にもナンシー市の各姉妹都市から学生が参加しており、さまざまなアクティビティを通して各国から集まった学生たちが異文化交流を図りました。

交換留学生の受入・派遣

金沢市から昨年派遣された山野瑞季さん（金沢美術工芸大学）が、1年間の留学生生活を終えて帰国しました。また、24人目の留学生として、近藤智子さん（金

沢美術工芸大学）が派遣され、2014年10月よりナンシー国立高等美術学校にて学んでいます。

さらに、昨年来日したナンシー市からの交換留学生、ルー・ゴデさん（ナンシー国立高等美術学校）が金沢美術工芸大学での留学生生活を終えて9月に帰国し、これに続いて24人目の留学生、オレリー・アユブさん（ナンシー国立高等美術学校）が金沢美術工芸大学での留学生生活を始めました。

ガラス工芸作家をドーム社に派遣

ナンシー市が発祥の地である世界的なガラス工芸品ブランド「ドーム社」に、金沢卯辰山工芸工房のガラス工芸作家、鶴林舞美さんが研修生として派遣されました。研修は10月29日から11月19日の期間、シャンパーニュ地方にあるドーム社の子会社、「クリスタレリー・ロイヤル・ド・シャンパーニュ社」の工房で行われ、鶴林舞美さんは生産ラインの各工程における同社の技術を学びました。

Topics

ナンシー・ロレーヌ仏日協会訪問団が来沢

ナンシー・ロレーヌ仏日協会のジャン＝リュック・コンテオドノー会長をはじめとする訪問団が金沢日仏協会との交流のために来沢し、金沢市長を表敬訪問しました。訪問団は10月19日から21日の期間金沢に滞在し、金沢日仏協会の会員と親睦を深めるほか、市内で文化体験を行うなどして金沢を満喫しました。



山野市長を表敬訪問



蘇州【中華人民共和国】



蘇州市田家炳中学校を訪問した第5回中学生親善団

提携 1981年(昭和56年) **人口** 653万人 **面積** 8,488km²

約2500年前、「吳」の国の都として築かれた古都。温和な気候と美しい自然に恵まれ、古くから景勝の地として知られる。美しい庭園と寒山寺などの名所旧跡が数多く、拙政園や留園など9カ所もの庭園が世界遺産に指定されている。シルクなどの特産品や食の地としても有名であるが、近年は、日本企業を含む多くの外国企業が進出しめざましい経済発展を遂げている。2014年12月、本市と同じクラブ分野でユネスコ創造都市ネットワークに加盟。

蘇州市碑刻博物館代表団が来沢

2014年6月27日から29日の日程で、陸雪梅・蘇州市碑刻博物館長・蘇州市孔子廟管理所長を団長とする蘇州市碑刻博物館代表団4名が本市を訪問しました。一行は滞在中、金沢職人大学校で「中国石碑彫刻職人交流講座」を開催して、博物館の概要や蘇州市の拓本保存に関する技術を紹介し、同校で学ぶ石工職人らとの文化・技術交流を深めました。また、卯辰山から常福寺、兼六園にかけて残されている石碑や書画を訪ね歩き、日中友好の歴史を改めて胸に刻みしました。

第5回金沢市中学生親善団を蘇州市に派遣

2014年7月31日から8月4日の日程で、西川洋・金沢市土木局長を団長とする中学生親善団20名が蘇州市を訪問しました。滞在中、中学生団員は、蘇州市田家炳実験初級中学校の生徒らの家庭においてホームステイを体験するなど、ホストファミリーとの交流を深めました。

一行が田家炳実験初級中学校を訪問した際には、扇子絵や刺繍など中国の伝統文化等を教える授業の体験を行いました。また、同校での交流会では、浴衣を着て、英語で兼六園や金箔といった金沢の文化を紹介したほか、日中両国の歌を

披露するなど、友好交流の促進と相互理解に努めました。

この時には、2013年度の蘇州市青少年代表団として来沢した同校を卒業した生徒も参加して、その時に覚えた日本の「四季の歌」を一緒に歌うなど会場は終始なごやかな雰囲気につつまれていました。

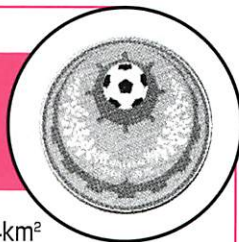


浴衣を着て学校訪問・交流会に参加する中学生団員

Topics

第4回日中韓三姉妹都市間交流大会参加団の帰国報告

2014年12月3日、蘇州市で開催された「第4回日中韓三姉妹都市間交流大会」に参加のため11月21日から24日までの日程で蘇州市を訪問していた中島史雄・金沢国際間交流協会顧問ら同協会の役員3名が、金沢市長に帰国の報告に来庁しました。同協会では、金沢市・蘇州市・全州市との間で間交流の親善交流対局を、2010年度から開催しており、2016年度には第5回大会を金沢市で開催する計画も報告されました。



大連【中華人民共和国】



丸口副市長を表敬訪問する大連経済貿易訪問団

提携 2006年(平成18年) **人口** 590万人 **面積** 12,574km²

遼東半島最南端に位置し、中国東北部を代表する港湾工業都市で、貿易金融の中心都市。総延長1,900kmにおよぶ美しい海岸線と起伏に富んだ地形に恵まれた風光明媚で活力溢れ、ファッションとサッカーをイメージした戦略で知られる観光都市でもある。

また、船舶・鉄道車両などの工業分野でも発展を遂げるとともに、郊外の「経済技術開発区」を中心に、3,300社以上の日系企業が進出しており、先端技術の発展を目指した国際都市の建設に邁進している。

大連市へ教育研修団を派遣

2014年9月20日から24日の日程で、宮下毅・金沢市教育委員会教育次長を団長に、小中学校の中堅教員等からなる金沢市海外教育派遣研修「大連市教育研修団」一行6名が、英語教育の先進地である大連市の教育事情を視察しました。

一行は提携関係にある大連教育学院や、大連工業大学、大連市内の小中学校等への訪問を通して国際理解教育に対する見識を深め、教員としての資質を高めることを目的に派遣されたものです。

Topics

大連経済貿易訪問団が来沢

2014年4月24日、張凱華・中国国際貿易促進委員会大連市分会/大連国際商會会会長を団長とする大連経済貿易訪問団一行8名が丸口副市長を表敬訪問しました。一行は、NPO法人日本海国際交流センターの招きで、貿易の促進を視野に入れた交流を図ることを目的に来沢したもので、市内で開催された「大連ビジネス講演会・交流会」に出席し、企業に、大連市で開催された「大連日本商品展覧会」への出展を呼びかけました。

全州 [大韓民国]



「第13回全州韓紙招待展」開会式

提携 2002年(平成14年) **人口** 65万人

面積 206km²

「後百済」の都として千年余りの歴史を持つ古都で、李氏朝鮮を開いた李成桂の本郷としても知られる。国指定宝物の豊南門(ブンナムムン)、韓屋村などの歴史遺産や韓紙(ハンジ)、韓(ハン)ソリなどの韓国伝統文化が創造的に継承されていることが高く評価されている。近年は、炭素繊維産業や「韓スタイル事業」を通して先端技術と伝統が調和する経済を追求するとともに、映画映像産業、生物生命産業なども育成し、21世紀新産業都市への変貌を図っている。

第13回全州韓紙招待展を開催

2014年7月17日から22日にかけて、金沢海みらい図書館にて「第13回全州韓紙招待展」を開催し、全州市の韓紙工芸作家による伝統の韓紙工芸品や全州市の名品約90点余りが展示されました。

この展示会は、2002年の両市姉妹都市提携後、全州市の(社)韓紙文化振興院との間で毎年交互に双方の都市で、伝統工芸品を紹介しあうために開催されているもので、今回で13回目となりました。

本展示会の開催のため、7月17日から19日の日程で、金恵美子・(社)韓紙文化振興院理事長、李相七・前理事長をはじめとする韓紙工芸作家等からなる訪問団16名が本市に滞在して、開会式に出席したほか、山野之義・金沢市長とも懇談を行いました。

全州市新興(シンフン)中学校訪問団が来沢

2015年1月21日から24日の日程で、蘇秉殷・全州市新興中学校長を団長に、同校の生徒4名を含む訪問団7名が、本市を訪問しました。一行は、高岡中学校の協力を得て、同校を訪問して授業見学や、交流会での歓迎の餅つき大会等に参加したほか、中学生団員は同校の生徒とともに研修合宿に参加して、友好交流と相互理解を促進しました。

更に一行は、兼六園等の市内見学や、和菓子作り・金箔体験等をおこなって、金沢の文化に対する理解を深めました。



高岡中学校訪問・交流会で歓迎の「餅つき」を体験

金承洙・全州市長が就任、宋河珍・前全州市長は全羅北道知事に就任

2014年6月に実施された韓国統一地方選挙の結果、7月1

日、金承洙氏が全州市の新市長に就任しました。また、2006年7月から二期8年にわたり全州市長として本市との姉妹都市交流発展にご尽力いただいた前任の宋河珍・前市長は全羅北道知事に就任されました。お二人には、両市の友好交流促進に向けて、今後とも変わらぬご支援を願っています。

全州市役所の仕事始め式にて 金沢市長の新年祝賀メッセージを放映

2015年1月2日、全州市役所の仕事始め式にて、山野市長の新年祝賀ビデオメッセージが放映されました。この中で市長は、5月のユネスコ創造都市ネットワーク金沢会議への全州市長の招聘、11月の金沢マラソンへ全州市から多くのランナーの参加など今年の更なる活発な交流への期待を述べました。

なお、全州市の仕事始め式における金沢市長のメッセージの放映は、2013年1月に続く2回目であり、本市以外にも、全州市の姉妹都市である中国・蘇州市長などからもメッセージが寄せられました。

Topics

全州市議会代表団が金沢市議会を訪問

2015年2月6日から9日の日程で、朴賢圭・全州市議会議長を団長とする全州市議会代表団16名が来沢し、2004年5月に「両市議会の友好交流に関する協定書」を調印している金沢市議会とのより一層の交流を深めました。

金沢市の若手竹工芸作家が全州市を訪問

国際的な人脈と視野を得ることを目的に、本市の若手工芸作家が海外のユネスコ創造都市へ派遣研修に赴くことを支援する「クリエイティブ・ワルツ事業」で、2015年3月6日、本市の竹工芸作家・橋本沙織さんが、全州市を訪問しました。橋本さんは滞在し、全州市新興中学校で竹工芸体験教室を開いたほか、(社)韓紙文化振興院の協力を得て、韓紙産業支援センターや韓屋村などを訪問して、全州市の工芸文化の深さを学びました。

「国際交流まつり2014」開催

国際交流まつり2014が、6月28日から29日にかけて、石川県政記念しいのき迎賓館広坂緑地・石の広場にて開催されました。初夏の開催は初となりましたが、2日間で約15,000人の市民が来場しました。

約40団体の市内国際交流関係団体が構成する運営委員会が主催し、世界の料理が味わえる「ワールドグルメコーナー」や世界の民芸品販売や活動紹介を行う「ワールドバザール&インフォメーションコーナー」には、様々なブースが並びました。世界の舞踊や音楽が楽しめる「ワールドステージ」では、タイ舞踊やオーストラリアの楽器の演奏、来場者も飛び入り体験できるコーナーなどのプログラムが披露されました。

体験プログラムの一つである「こども国際交流オリエンテーリング」は、子どもたちが外国人の方と一緒にゲームに取り組むという「体験」を通じて、国際交流に幼いころから親しむきっかけづくりを目的に実施しています。ここでは、中国、オーストラリア、ベルギー出身の留学生や本市の国際交流員が協力し、子どもたちと一緒にチェックポイントを回り、本市の姉妹都市についての問題や、姉妹都市の国のあいさつなどに関するクイズなどにチャレンジしました。今年は80名を超える子どもたちの参加があり、楽しそうに交流している姿が会場のあちこちで見られました。



会場にならぶ様々なブース



ワールドステージ (タイ舞踊)



こども国際交流オリエンテーリング



姉妹都市に関するクイズに挑戦中

国際交流員による国際理解講座

金沢市には、アメリカ、ベルギー、フランス、中国、韓国の5人の国際交流員が在籍しており、姉妹都市交流事業にかかる業務の他に、地域レベルの国際化に従事するため、市民に対して、姉妹都市や出身国の言語や料理、年中行事などの文化を紹介する講座を行っています。

5月31日(土)、6月1日(日)

「やってみよう! 英会話コミュニケーション」(参加者11名)

6月14日(土)

「国際交流員ジュリーの文化紹介講座~伝統豊かな東フランス~」(参加者13名)

7月6日(日)

「作ってみよう! 韓国屋台料理II」(参加者14名)

8月9日(土)、10日(日)

「文化も楽しめる! はじめての韓国語」(参加者11名)

10月25日(土)

「国際交流員ウエルナのベルギー紹介講座~食と歴史~」(参加者14名)

11月9日(日)

「作ってみよう! 中国家庭料理講座」(参加者15名)

12月14日(日)

「アメリカとフランスのクリスマス体験しよう」(参加者30名)

2月8日(日)、3月1日(日)

「フランスの“クレープ祭り”を味わってみよう!」(参加者35名)

2月22日(日)

「作ってみよう! 中国結び」(参加者15名)

今後とも幅広い世代の市民の皆さんが楽しめる国際理解や文化交流事業を企画しますので、ぜひご参加ください。



やってみよう! 英会話コミュニケーション



文化も楽しめる! はじめての韓国語



アメリカとフランスのクリスマス体験しよう!



作ってみよう! 中国結び

国際交流ダイアリー

4~6月

- 4月1日 ナンシー市ロレーヌ情報科学利用研究所
来訪
- 4月1日 韓国清州市視察訪問団 来訪
- 4月9日 韓国文化財保護財団訪問団 来訪
- 4月18日 駐日アゼルバイジャン共和国 ギュルセル・イスマイルザデ特命全権大使 来訪
- 4月24日 金沢青年会議所蘇州市訪問団一行が蘇州市青年連合会を訪問（～26日）
- 5月8日 台北駐大阪経済文化弁事処 蔡明燿処長を訪問
- 5月9日 台北駐日経済文化代表処 沈斯淳代表を訪問
- 5月16日 金沢港に世界最大の洋上書店「ロゴス・ホープ号」寄港（～26日）
- 6月2日 韓国忠清南道禮山郡月進会訪問団 来訪
- 6月12日 駐名古屋中華人民共和国総領事館 葛廣彪総領事夫妻 来訪
- 6月23日 金沢出身青年海外協力隊員2名がカンボジア・ニカラグアへの出発挨拶
- 6月26日 駐日スペイン大使館 サンチアゴ・エロ・アミーゴ文化担当参事官 来訪

7~9月

- 7月8日 ゲント市高校教師 来訪（～10日）
- 8月28日 韓国光州広域市「国土環境デザインモデル事業」推進視察訪問団 来訪
- 9月24日 金沢出身青年海外協力隊員3名がボリビア・ガーナ・キルギスへの出発挨拶

10~12月

- 10月8日 金沢市日台親善議員連盟「金沢市台湾公式訪問団」の出発挨拶
- 10月28日 ドイツ・オスナブリュック市フェルカースクール訪問団 来訪
- 10月29日 第4回日仏自治体交流会議（開催地：高

- 11月3日 松市）参加（～30日）
金沢市国際交流員が加賀友禪をPR、市の公式フェイスブックで発信
- 11月12日 金沢西早朝ソフトボール連盟「2014韓国ソフトボール友好交流訪問団」が全州市への出発挨拶
- 11月18日 蘇州市総工会代表団 来訪
- 11月19日 金沢市国際交流員が加賀野菜をPR、市の公式フェイスブックで発信
- 11月27日 台北駐日経済文化代表処札幌分処 陳桎宏処長を訪問
- 11月28日 JICAタイ青少年育成研修プログラム訪問団 来訪
- 12月4日 駐日ベルギー大使を訪問
- 12月5日 駐日各姉妹都市（ブラジル・ロシア・中国・韓国）大使館を訪問
- 12月7日 韓国KBS放送ソウル支局のテレビ番組取材 来訪
- 12月9日 駐新潟大韓民国総領事館 趙建熙総領事 来訪
- 12月16日 台湾台中市台日文化経済交流協会訪問団 来訪
- 12月19日 韓国全州市クラシック交響楽団 来訪

1~3月

- 1月23日 駐日フランス大使館 クレール・テュオーデ文化参事官 来訪
- 3月6日 金沢出身青年海外協力隊員1名がザンビアからの帰国挨拶
- 3月10日 韓国光州広域市観光振興課訪問団 来訪
- 3月13日 韓国忠清南道公務員「公州・夫餘・青陽生活圏協議会」訪問団 来訪
- 3月14日 全州市伝統文化課「全羅監營復元再創造委員会」訪問団 来訪
- 3月19日 金沢出身青年海外協力隊員1名がエクアドルへの出発挨拶

国際交流員の一年



アマンダ・ウング (アメリカ)

Hello everyone! (皆さん、こんにちは！)

また一年があつという間に過ぎてしまいましたね。2014年は新しい仕事の経験や面白い体験を通じて、元気で楽しく過ごすことができました。

去年は、色々な方々に自分の好きなアメリカ料理を教えさせていただきました。アメリカ東北方定番のクラムチャウダーをはじめ、メキシコ料理の影響で広がってきたグアカモレとチキンファヒータなどを市民の方々と一緒に作ったり味わったりして、少しでも料理を通じてアメリカの文化や歴史をわかっていただくことができ、普段、料理があまりできない私にとっても、

大変貴重な経験でした。その他には、市内の小中学校を訪問した際には、学生の皆さんに自分の故郷を紹介していただいて、金沢のことをより深く知ることができました。このように金沢の市民の方々と、料理やゲームなどを通じてお互いの文化や背景を理解し合うということは、視野を広げ、他者への思いやりの心を育てる上で、大変重要な事業だと思いますので、毎日、私にやる気を与えてくれます。

金沢に引っ越して2年目になりますが、楽しみは尽きそうもありません。これからも金沢の皆さん方とたくさん交流ができますよう、頑張っていきたいと思います。皆さん、今後ともよろしくお願いたします！



ウエルナ・ヴァンホーレンベーク (ベルギー)

Dag iedereen! (皆さん、こんにちは！)

ベルギーから来ましたヴァンホーレンベーク・ウエルナです。2013年の8月から金沢市の国際交流員として勤め始めてからあつという間に1年半が経過しました！

ベルギーの国際交流員として、充実した日々を送っています。

来年2016年には金沢市とゲント市との姉妹都市提携45周年、ベルギーと日本との国交樹立150周年も迎えます。この1年半ではゲント市と金沢市との共通点の多さに驚きました。ゲント市は2009年に金沢市と同時にユネスコ創造都市ネットワークに登録されました。金沢市はク

ラフトの分野で、ゲント市は音楽の分野に登録された訳です。

ゲント市と金沢市は違う分野で創造都市に登録されているかもしれませんが、異分野での交流も行っています。例えば、去年は金沢市のジュニア・ジャズオーケストラJAZZ-21がゲント市で演奏し、今年の夏にはゲント市のジャズグループが金沢市を訪問することになります。今年5月のユネスコ創造都市ネットワーク会議の金沢開催に合わせて、ゲント市の市長に來沢いただくことにより、また新しい交流が生まれることを願っています。

両市姉妹都市提携45周年に向かって姉妹都市交流の更なる増進と、金沢市とゲント市の絆が益々深くなっていくことを楽しみにしています。これからも宜しくお願致します！



マチルダ・デュボワ (フランス)

Bonjour à tous! (皆さんこんにちは！) 新人のフランス国際交流員のMathilde Duboisと申します。

金沢に来て半年以上が経ちました。日本での生活は初めてではないのですが、日本海側・北陸は未知の世界だったので、配属が決まった時はすごく嬉しか

ったです。

国際交流員としての仕事を通して、金沢の様々な面を知るチャンスがあり、とても恵まれた人間だと感じています。フランス人のお客さんの通訳を務めることで金沢の伝統文化や歴史に触れることができます。学校訪問の際には、日本の若者に触れ、異文化について

お話させてもらっていますが、そのテーマはとても身近に感じ、有意義な機会だと心から感じています。また、ラジオ出演やイベントへの参加、市民の方々への支援など、幅広いお仕事をさせていただき、金沢の市民の皆さんにお会いすることができ、毎日が新しい経験で溢れています。

国際交流員になる前は仕事の経験がなく、來沢する前は職場の基準に沿えるかどうかかなり緊張していましたが、職場の方々や金沢市民の方々が温かく迎えてくださって、今は楽しくお仕事をやらせてもらっています。

今後も皆さんに触れ合うことを楽しみにしております。どうぞよろしくお願致します！



唐笑叶 (中国)

大家好! (皆さん、こんにちは。)

中国・蘇州市から参りました唐笑叶です。2014年4月から金沢市役所で国際交流員として働き始めてから、もうすぐ1年が経とうとしています。この1年間、春のお花見、夏の白山登り、秋の兼六園の紅葉、冬の雪景色、それに四季の味覚など、ここでの生活を思う存分堪能しているうちに、すっかり金沢のとりこになりました。

仕事の面では、とても充実した1年となりました。蘇州碑刻博物館訪問団の受け入れや蘇州図書館百周年記念式典への出張など、蘇州市との交流に積極的に取り組んできました。そのほか、市内の小・中学校訪問、市民向け文化講座、ラジオ出演、公共施設のパンフレ

ット翻訳など、多岐に渡った仕事を通して、たくさんの方々に中国や蘇州のことを伝えることができ、大変うれしく思っています。その一方、仕事の関係で金沢市の伝統文化や工芸に触れることができ、ユネスコ・クラフト創造都市金沢ならではの魅力をより深く理解することもできました。

私の任期は2015年4月までなので、あとわずかですが、北陸新幹線開業後、金沢市が世界の交流拠点を目指し、ますます発展していることをとても楽しみにしております。そして、帰国してからも金沢市の魅力発信に精いっぱい努めさせていただきたいと思っています！本当にお世話になりました。謝謝！再見！（ありがとうございました。さようなら。）



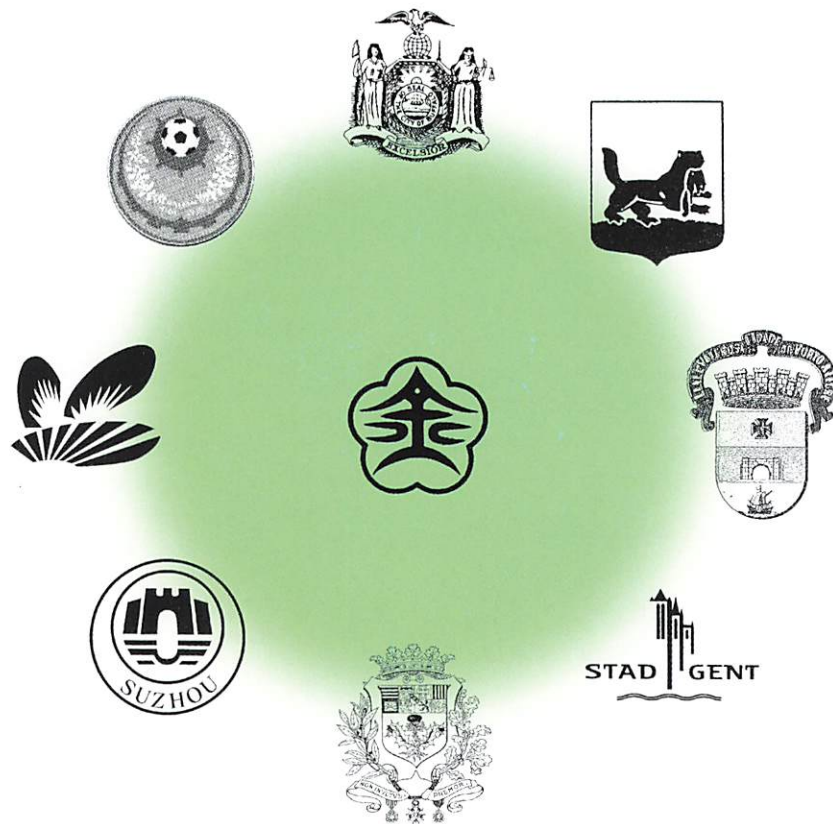
李瑜林 (韓国)

皆さん、アンニョンハセヨ (こんにちは！)

韓国出身の国際交流員李瑜林です。時間が経つのはとても早いもので、2015年度は私の国際交流員としての任期の最後の年になります。物事を完成するために最後に加える大切な仕上げの例えとして「画竜点睛」という四字熟語がありますが、2015年度が私の国際交流員としての仕上げの年になりますよう、例年以上に仕事を頑張っていきたいと思っております。

ところで、2014年度も仕事面で充実した日々を送らせていただき

ました。市の施設の翻訳や市民の皆さんを対象にした基礎韓国語講座、料理講座、国際交流イベントへの参加、ラジオ出演などを行いました。また、今年の2月には市立高岡中学校との交流のため、はじめて來沢した全州新興中学校訪問団のアテンドおよび通訳をさせていただきました。日・韓の中学生同士がすぐ打ち解け、楽しく会話する様子を見て、国際交流の楽しさ若い世代の交流の大切さを改めて感じました。これからも日韓交流の機会がさらに増え、お互いのことをもっと理解し合えることができることを願っております。それでは皆さん、今年もチャルプタクナムニダ！（よろしくお願致します。）



第41号 (2014・平成26年度)

2015年発行

金沢市姉妹都市交流委員会

事務局：金沢市市長公室 国際交流課

TEL 076-220-2075 FAX 076-220-2069